

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)海老名ケアサポートセンター新築工事	階数	地上4F
建設地	海老名市今里一丁目311番ほか7筆	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	300人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年3月 予定	評価の実施日	2013年11月28日
敷地面積	4,493 m <sup>2</sup>	作成者	(株)入江三宅設計事務所
建築面積	1,568 m <sup>2</sup>	確認日	2013年11月28日
延床面積	5,593 m <sup>2</sup>	確認者	(株)入江三宅設計事務所



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0**

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
建設 修繕・更新・解体 運用 ロンサイト オフサイト

参照値: 100%  
建築物の取組み: 68%  
上記+: 68%  
上記+: 68%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 2.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.4

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.7

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項	
総合	その他 0
<b>Q1 室内環境</b> ・ 宿泊部分、昼光率 = 6.55% 確保 ・ 3F・4F宿泊部分に光庭を採用 ・ 宿泊部分に庇やカーブで昼光制御 ・ 全ての宿泊室は個室で照明は個別制御が可能等	<b>Q2 サービス性能</b> ・ 宿泊部は個室のみで15.6m <sup>2</sup> /床以上である ・ 非常用発電設備を備えている。 ・ むし・カを屋上に設置し、浸水の危険性を避けている
<b>LR1 エネルギー</b> ・ 壁や屋根に高断熱性能の材料構成を採用しPAL値 = 255.8を確保しエネルギーの使用を抑制 ・ 高効率機器を採用しERR値 = 41%を確保しエネルギー使用を削減	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・ 分別が容易な内装材を多用し、非再生性資源の使用量を削減
	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> ・ 外構緑化指数23%を確保し生物環境の創出に配慮 ・ 空地率65%を確保し敷地内温熱環境に配慮
	<b>LR3 敷地外環境</b> ・ 高効率機器を採用し運用時のLCCO <sub>2</sub> を削減 ・ 駐車場や駐輪場を確保・敷地内車両動線にも配慮し交通負荷抑制に貢献

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される